

所属・資格 教育学科・教授

申請者氏名 小野 雅章

研究課題		教育関係詔勅の教材化と授業内容に関する基礎的研究
報告の概要	研究目的 および 研究概要	<p>本研究の目的は、教育関係詔勅がどのように教材化され、どのように教授されたのかを、国定教科書、国定教科書編纂趣意書などの分析により、当時の文部省が、初等教育の段階で教育関係の詔勅について、どの程度の理解を求めていたのかを明らかにすることにある。</p> <p>これまでの教育史研究では、教材としての教育勅語、その他教育関係詔勅が、実際にどのような扱われていたのか、従来からこの点についての解明の必要性が説かれているが、進展がみられない。こうした状況を克服するため、本研究では、国定修身教科書（児童書）に加え、同教師用書、編纂趣意書などを可能な切り収集し、考察を深めたいと思う。</p>
	研究の結果	<p>今回の研究により、以下の点が明らかになった。</p> <p>① 教育関係詔勅を教材化する意図について、これまであまり検討対象になることのなかった、国定教科書編纂趣意書の分析により、その教材化の意図を明らかにした。</p> <p>② 国定修身教科書（児童書、教師用）の分析により、教育勅語、戊申詔書、国民精神作興ニ関スル詔書、青少年学徒ニ賜ハリタル勅語の教材としてどの点を重視するよう求めていたのか、この点について明らかにした。</p> <p>③ 旧開智学校校舎所蔵資料、上諏訪小学校所蔵旧高島小学校資料の分析により、教育関係詔勅の教材化と授業実践の具体像を明らかにした。</p>
	研究の考察・反省	<p>本研究は、歴史研究であり、単年度で確実な成果を出すことには無理がある点が多々ある。今回の研究成果を基礎としながら、次年度以降にも継続すべき諸点として、以下のことをあげることができる。</p> <p>① 教育関係雑誌の記述の分析により、教育関係詔勅の教材化や教授の実態について、どのような議論があり、それが実際の教授に反映されたのか否かの分析。</p> <p>② 旧開智学校校舎所蔵資料、上諏訪小学校所蔵旧高島小学校資料に含まれる、修身科の答案（教育勅語関係、戊申詔書関係など）を分析することにより、教育関係詔勅関係の授業の評価の観点の分析。</p>
研究発表 学会名 発表テーマ 年月日/場所  研究成果物 テーマ 誌名 巻・号 発行年月日 発行所・者	<p><b>【研究発表】</b>                  教育史フォーラム・京都第49回研究会、「旧開智学校の教育実践と所蔵史料」（シンポジウム：開智学校から考える地域と学校の関係史）、2023年3月12日/キャンパスプラザ京都。</p> <p><b>【研究成果物】</b>                  「教育史学」『授業力&amp;学級経営力』第150号、2022年9月、明治図書。</p>	